

公益社団法人日本しろあり対策協会（化学的防蟻材料及びその施工方法）認定

CLEAN BARRIER

土壌表面皮膜形成工法

グリーンバリア® 工法

（防除施工標準仕様書特別規定第20号）



株式会社

日本衛生センター

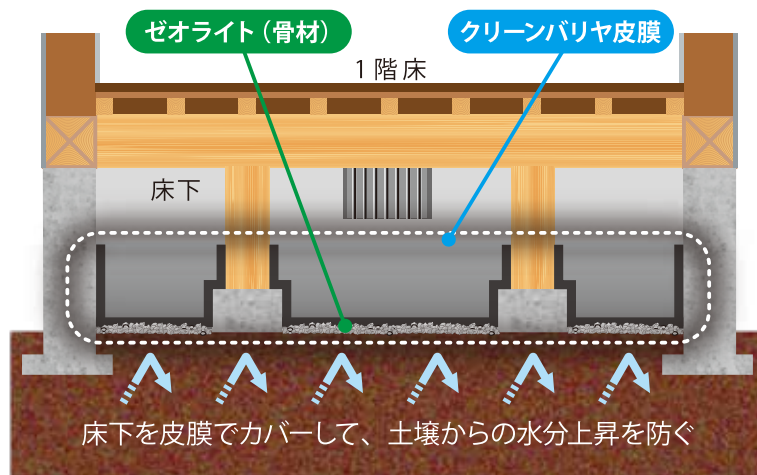
<https://www.nippon-ec.com/>

床下の防湿工事と防蟻工事を同時に

『グリーンバリア工法』は、床下土壌面に合成樹脂の皮膜を形成し、「防湿工事」と「防蟻工事」を同時に施工できる公益社団法人 日本しろあり対策協会の認定工法になります。シロアリの侵入・床下の湿気・カビ臭・木材腐朽を抑制し、床下環境を改善します。一般住宅だけではなく多くの文化財や神社仏閣等にも採用されており、安全性と信頼性の高い防湿・防蟻工法です。



従来の防湿工事とは違い、床下土壌面に樹脂の皮膜を形成する工法で、手軽かつ効果的に床下の湿気対策とシロアリ対策を同時に行うことができます。特別に設計されたガンの先端で防蟻薬剤を含んだ合成樹脂を反応させ、ゼオライト(骨材)を敷設した土壌面に散布して皮膜を作ります。この皮膜が、シロアリの侵入や土壌の水分上昇を阻止するバリアとなり、床下の湿気や木材の腐れを抑制します。短工期での工事が可能で、住宅の耐久性向上に寄与します。



クリーンバリア皮膜の被覆イメージ

施工手順



①床下清掃



②木部防蟻処理



③ゼオライト（骨材）敷設



④クリーンバリヤ樹脂散布



⑤施工後

※床下の構造や状況によって施工手順が異なる場合があります。

文化財施工実績

クリーンバリヤ工法は、その高い信頼性と実績から多くの文化財の公共工事にも採用されています。



菅原神社
修復工事



国営公園
吉野ヶ里遺跡
防蟻防水工事



熊本城跡
復元工事



その他の施工実績：大阪城、国立音大、札幌開拓村、神社・寺院仏閣多数

- 進入口が1箇所あれば施工が可能です
- 施工日数は約15坪の広さで1日～2日が目安です

※上記日数は施工箇所の環境条により延びる場合があります。

クリーンバリアの仕上がりイメージ



皮膜断面図



『クリーンバリア工法』は、土壌面に合成樹脂の皮膜を形成することによって土壌から蒸発する水分を抑え、床下の湿気によるさまざまな住宅被害を抑制する防湿・防蟻工法です。樹脂には防蟻薬剤が含まれており、湿気対策だけではなくシロアリの侵入も阻止し、カビ臭や腐朽菌繁殖の抑制に対しても効果的です。



(公社) 日本しろあり対策協会認定証

【販売店】

【販売元】



株式会社

日本衛生センター

<https://www.nippon-ec.com/>